

第20回 名市大生物多様性研究センターセミナー

- 日時：平成24年10月24日（水） 午後7～8時
- 場所：名古屋市立大学 山の畑キャンパス
4号館（南棟）3階大講義室
- 講師：湯川 眞希 氏（名古屋市立大学システム自然科学研究科、研究員）
- 題目：『タバコ葉緑体 *in vitro* 翻訳系 ～開発と成果～』

1986年に世界に先駆けて全塩基配列が決定され、ゲノムプロジェクトのハシリとなったのは双子葉植物のタバコ (*Nicotiana tabacum*) の葉緑体ゲノムです。タバコ葉緑体ゲノムは配列決定後も1998年と2005年の2度、配列の修正が行われている世界で唯一のとても正確な「標準ゲノム」です。葉緑体ゲノムにはおよそ150の遺伝子が存在し、そのうちのおよそ80がタンパク質コード遺伝子で、これらは葉緑体独自の装置で転写／翻訳されています。葉緑体独自の翻訳機構を解析するため、私達は「標準ゲノム」をもつタバコ葉緑体を材料に *in vitro* 翻訳系を開発・改良してきました。本講演では、その開発の歩みとコード領域が部分的にオーバーラップしているタバコ葉緑体 *ndhC-K* mRNA の解析で得られた興味深い成果を紹介します。

山の畑キャンパスへの道順：<http://www.nsc.nagoya-cu.ac.jp/location.html>

問合せ先：熊澤 慶伯（名市大システム自然科学研究科、電話：(052)872-5844）